特定健診未受診の方へ 訪問実態調査を実施します

平成20年4月からメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の発生リスクが高い対象者を早期に発見し、生活習慣を改善することにより、発症と重度化の抑止を目的として、「特定健康診査・特定保健指導」が始まりました。本市において、40歳から74歳の国保加入者を対象に年1回の特定健診と、発症リスクの高い対象者に対する運動や食事などに関する特定保健指導を実施しています。

本年度で3回目になりましたが、これまで1回も受診していない方を中心に、戸別訪問による実態調査を行いますので、ご協力をお願いします。

【調査期間】＝1月～3月

【調査の趣旨】＝未受診理由などの調査・分析を行うことにより、受診しやすい環境を整え、今後の事業推進に活用します。

【調査方法】＝調査員証を持った調査員が訪問します。

【調査対象】＝平成20～22年度までの3カ年特定健診未受診者（甑地域を除く）

【問合先】＝本庁国保介護課国保G（内線2642）

おおつな商品券が使用期限を迎えます！

さつませんだいおおつな商品券の使用期限は、**本年1月31日（月）まで**となっています。

使い忘れのないよう市内加盟店でご利用ください。

なお、期限後は使用できませんのでご注意ください。

【問合先】＝
▼川内商工会議所
TEL（22）2267
▼市商工会本所
TEL（44）2045

ガス缶（スプレー缶）は正しく捨てましょう！

カセットコンロ用ガスボンベやスプレー缶などを、中身が入った状態でごみに出すのは、火災の原因となり大変危険です。

必ず、

①最後まで使い切り、
②穴を開けガスを抜き、
③資源ごみ（ただし、入来・祁答院地域は不燃ごみ）で

出してください。

安全なごみ収集のために、市民の皆さまのご協力をお願いします。

【問合先】＝本庁環境課廃棄物対策G（内線2733）

広報電話をご利用ください

当番医や防災行政無線の内容などがいつでも聞けるように、広報電話を設置しています。

番組表	
＃1	当番医（日曜日・祝日）
＃2	夜間救急当番医
＃3	歯科医の休日診療
＃4	水道サービスセンター
＃5	イベント情報
＃6	防災行政無線の放送内容

【例）夜間救急当番医を調べたい場合】

①**0120（894）256**（やくしょにコール）に電話をかけます。

②メッセージが流れます（メッセージが流れている間のチャンネル選択も可能です）。

③#と2を押し、情報を聞くことができます。

＊ダイヤル式電話または内線専用電話からは、ご利用できませんので、ご了承ください。

【問合先】＝本庁広報室広聴広報G（内線633）

市広報紙に有料広告を掲載しませんか

市では、自主財源の確保を目的に、「広報薩摩川内（原則月の第2週に発送する分）」に掲載する有料広告を、広告代理店（申込先）を通じて募集しています。

顧客拡大や業務内容の紹介などに、ぜひ、ご利用ください。

＊広告は随時募集しています。

＊市広告審査会で広告掲載の決定を受けた後、掲載します。

【広告掲載料】＝2万8350円（1枠1回・消費税込み）

＊別途、広告作成費が必要です。

【広告枠の規格】＝1枠当たり（縦）6・3㎝×（横）9・4㎝

＊複数枠での掲載もできます。

＊詳しくは、申込先にご確認ください。

【広告の色】＝フルカラー

【申込先】＝（株）可愛（えの）印刷
TEL（23）1170

【問合先】＝本庁広報室広聴広報G（内線632）

保健センターで実施する保健事業

地域	月日	時間	内容
川内	1/18(火)	9:00～9:20	母子健康手帳交付
		10:00～11:30	健康相談（成人・母子）
	1/25(火)	9:00～9:20	母子健康手帳交付
		10:00～11:30	健康相談（成人・母子）
樋脇	1/19(水)	9:30～11:00	母子健康手帳交付・健康相談（総合）
入来	1/26(水)	9:30～11:00	母子健康手帳交付・健康相談（総合）
東郷	1/19(水)	9:30～11:00	母子健康手帳交付・健康相談（総合）
祁答院	1/26(水)	9:30～11:00	母子健康手帳交付・健康相談（総合）

問合先
■市民健康課（川内保健センター内）TEL（22）8811
■各支所市民生活課健康福祉G

読者のひろば

このコーナーは、皆さんからの身近な話題を紹介させていただくページです。

郵便はがき

竹ノートをプレゼント

当コーナーにお便りなどが掲載された皆さんへ、竹ノート（A5判・非売品）をプレゼントします。このノートは、中越パルプ工業（株）川内工場様のご好意によるものです。お便りお待ちしています。

近ごろよく耳にする「ツイッター」。これは簡単な説明だと「つぶやき」というネットシステムだ。本来は見えないテレパシーを具現化したみたいで面白いと思う。

先日、「人に伝えるということは【話す】・【書く】この2つです。」という話を聞いた。当たり前のことかもしれないが、人の心を読み取ることはできない。だから、自分の言葉で話してみよう、書いてみよう、投稿してみようと思えるようになった。

（投稿マダム・39歳女性）

◆

皆さん、言葉にしないと伝わらない「思い」を共有できる場所を求めているのかもしれませんね。投稿マダムさんの「思い」も、このコーナーで読者の皆さんと共有できましたね。

母が隈之城町出身で、母のおなかにいる時から知る薩摩川内市。今でもバスや電車で薩摩川内市内に買い物や病院へ足を運んでおり、第2のふるさとかもしれません。中でも「くるくるバス」は目的のお店や病院の近くまで行けて100円。でも1時間に1本なので乗り遅れたら待つしかありません。だから便数を増やしていただけたらありがたいです。私の心をウキウキさせてくれる薩摩川内市に感謝。

（森みゆき・24歳女性）

◆

いつも本市にお越しいただきありがとうございます。今後も利用者に愛される バス運行を目指していきます。またのご利用をお待ちしています。

読者のひろば

薩摩川内市に来て、はや8カ月。たいていの街で夕方に子どもたちの帰宅時間を知らせる音楽が流れていたが、1日3回流れる市は初めて。「市民の心が一つになる瞬間が3回もあるなんて、すてき…」と感慨に浸っていた。しかも昼は市民歌だ。誰もが「さつま～せんだい～♪」と口ずさんでいるものと思い、地元の人に話した。すると、「何それ？あ～昼か。腹減ったなぁ、としか考えたことなかった。」と。う～ん、もったいない…。

（輝け未来へ・39歳女性）

◆

地元の方には、時報が生活の中で当たり前のことになっていて、「お昼の合図」に聞こえているのでしょうね。でも、多くの方が「市民の心が一つになる瞬間」と思えたらすてきですね。

私の異動手段はバスです。いつものようにその日も、予約しておいた予防接種を受け、買い物を済ませて昼前のバスに乗りました。私を含めて女性の方が5人乗っていました。あるバス停で1人女性の方が乗車。席に座り、バスが発車するはずなのに、発車しません。あれ？と思ったその時、運転手さんから大きな声。

「走って来やんせ。待っているから。気を付けてなー。」

皆一斉にバスの後ろを背伸びして見ると、少し年を召された女性の方が小走りに走って来るところでした。

「ありがとう！良かった、間に合った。ハーハー」

席に座られ無事発車。皆口々に「良かったなー。良かったねー。」とニコニコ笑顔。穏やかで、温かい気持ちになりました。

運転手さん、ありがとう。

（バス大好き・66歳女性）

◆

運転手さんや乗客の皆さんの優しさが、とても幸せな気持ちにさせてくれますね。バスが大好きな理由が分かりました。心温まる話をありがとうございました。

お便り募集 読者のひろば

広報室では、お便り、絵手紙、写真などを募集しています。

皆さんの身近な出来事などで紹介したい・伝えたい・心温まる話などをお寄せください。

【投稿について】＝

▼お便り＝字数200字以内

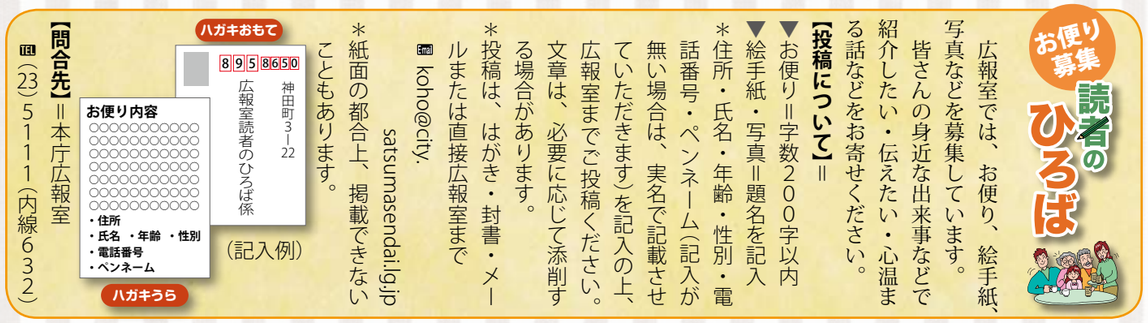
▼絵手紙・写真＝題名を記入

＊住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネーム（記入が無い場合は、実名で記載させていただきます）を記入の上、広報室までご投稿ください。文章は、必要に応じて添削する場合があります。

＊投稿は、はがき・封書・メールまたは直接広報室まで

Eメール koho@city.satsumasendai.lg.jp

＊紙面の都合上、掲載できないこともあります。



（記入例）

【問合先】＝本庁広報室
TEL（23）5111（内線632）

SENDAI Station
新大阪発着『さくら』
川内駅に上下21本停車!!